# **DP 200 - データ プラットフォーム ソリューションの実装**

## ラボ 9 - データ ストレージとデータ処理の監視とトラブルシューティング

### エクササイズ 4: ディザスター リカバリーを管理する

awcdbstudxx Cosmos DB に保存されている製品データベースのリカバリーに関する懸念が存在します。IS 部門は、誤ってデータベースを削除または移動して製品データベースが使用できなくなった場合に実行される高レベルの手順を提供するよう求めています。

**注**: グループの回答によって異なるため、回答は提供されません。

|  |  |
| --- | --- |
| ステップ # | 高レベルのリカバリー手順 |
| 1 | サブスクリプション ID の準備しておきます。 |
| 2 | Cosmos アカウント名を準備しておきます。 |
| 3 | Azure Cosmos データベース名を準備しておきます |
| 4 | [サポート チケットをファイル](https://portal.azure.com/?#blade/Microsoft_Azure_Support/HelpAndSupportBlade)するか、[Azure サポートに電話します](https://azure.microsoft.com/support/options/) |
| 5 | Sev B または Sev C Azure サポート ケースを開きます |
| 6 | データの復元後、新しいアカウント名に関する通知が提供されます (通常は <original-name>-restored1 の形式です)。 |
| 7 | 復元されたデータを確認して、リカバリーを検証します |
| 8 | [Azure Cosmos DB 変更フィード](https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/cosmos-db/change-feed)または [Azure Data Factory](https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/data-factory/connector-azure-cosmos-db) を使用して、データを元のアカウントに移行します。 |
| 9 | 正常に移行されたことを確認します。 |
| 10 | <original-name>-restored1 を削除します |